

第 8 号

かたつむり21

2004年10月17日 発行

10月現在会員数

個人 : 71人

法人 : 2 団体

題字 : 杉野 雅子

前期事業報告

事務局長 松木彰造

① SGサマーキャンプへの応援

今年は数年ぶりの山キャンプでした。山キャンプを経験したSGリーダーも徐々に少なくなり、このままでは山キャンプの実施が危ぶまれるのではないかとの危機感を抱いた種子島公望SG委員長の強い希望で実現しました。

キャンプの実施にあたっては、キャンプ場の情



写真：7月末の本会会員による下見

報提供や下見にも参加し、現役メンバーの負担軽減につとめました。また、キャンパー募集には本会参与の幸島さんや箕面養護の竹内校長先生のご協力をいただきました。ありがとうございました。

キャンプ場は初めの「とちのき村（兵庫県美方郡）」。キャンパー15名、リーダー50名総勢65名の大所帯でした。「かたつむり21」からはスーパーバイザー・看護師・食事担当等として8名が参加しました。

やはり、山キャンプ。刻々と変わる天候に翻弄される場面も多々ありましたが、終わってみればすべてが良い経験になったようです。「来年も山キャンプを！」や「冬のキャンプもいいな！」という声も聞かれます。

障害児を取り巻く環境も変わってきました。しかし、今も変わらず、子ども達や保護者の皆さん方のSGキャン

プに寄せる期待は大きく、今年の経験を活かして、ぜひ、来年も創造的なキャンプに挑戦して欲しいものです。

② その他の事業

* 週1回午前中事務所周辺の清掃

第2土曜日午前10時30分よりSG事務所周辺と近くの公園の清掃。是非ご参加ご協力下さい。

* SG委員会に参加し、アドバイスをを行うとともに雑務等の作業を担当

◎お願いとお知らせ

◇秋の行事

今年も、11月13～14日に恒例の『能勢 Autumn Camp』を実施します。誰でも参加できます。いろいろな方々に声かけをして、参加して下さい。学生さん大歓迎！。詳細は本誌4頁及び別添案内をご覧ください。

◆事務所を置かせて頂いている婦人ホームへの古着（冬物）等の提供をお願いします。詳しくは杉野雅子さん（072-792-2488）まで。

◆住所・電話・メールアドレスの変更は事務局長松木までお知らせ下さい。

◆会費納入をうっかりお忘れの方、同封の振込用紙（銀行振込可）をお願いします。なお、既に納入済みの方には同封しておりません。

SG後援会「かたつむり21」

531-0072 大阪市北区豊崎3丁目11番1号

大阪婦人ホーム 気付

会長：黒川 芳朝 事務局長：松木 彰造

電話：06-6375-3731（事務所）

072-661-4625（松木）

Eメール：akbkj500@amber.plala.or.jp（松木）



久しぶりの山キャンプ お疲れさまでした

キャンプ長 種子島 公望

今年は、暑いわ、オリンピックはあるわ、台風は来るわで盛り沢山の夏ですが、皆さん寝不足・飲み過ぎ・はしゃぎすぎなどで夏バテしてませんか？ 久しぶりの本格的な山キャンプで、SG・かたつむり21の総力を挙げて（言い過ぎか？）挑んだ今回は、各スタッフも精鋭揃い（これも言い過ぎか！）。

おかげで、なかなか面白いキャンプになりました。キャンプの醍醐味は、やはり自然一杯の“山”です。テントに自炊、満点の星空、突然の大雨などなど。普段では味わうことのできない楽しい体験でした。

体力的にはきついキャンプ（歳か？日頃の不摂生か？私だけか？）でしたが、帰りのバスでの子供たちの感想は“非常に楽しかった！”。このキャンプをやってよかったなあ～と思いました。ご協力頂いたかたつむり21の皆さん、本当にお疲れさまでした。ありがとうございます。

SGサマーキャンプに参加して 伊東久実子



今年は久しぶりに“山キャンプ復活・全食事を自炊”と言うことで、食堂さんで参加しました。考えてみたら30年近くキャンプから遠ざかってしまっています。

「とんでもない失敗をやらかすのではないかな」「猛暑で食中毒をおこさないように」等々、あれこれ思いあぐねながらの参加でした。

が、心配は無用。OB・OGで固めた食堂メンバーは、皆な頼もしくスクラムもガッチリ！無事に役目を終えることができました。

何よりも子供達の溢れんばかりの笑顔、リーダーの全体力を掛けたガンバリ、今も変わらぬプロパティさんの汗まみれの姿。それぞれが一生懸命になって、一つの目標に向かっていく姿に深い感銘を受け、今も引き継がれているSGスピリットを感じました。

私自身「かたつむり21」の会員として、ともすれば

事務的な活動の中で自分でも気付かぬ内に義務感みたいなものが先にたっていたのかも知れません。SGメンバーの真摯な姿に触れることが出来て、私の心の中に又新しい風が吹いてきたように思えます。

“SG後援会”の意味をもう一度振り返ることができました。私自身キャンプに参加して本当によかったと思

っています。皆さんにも、是非参加することをお勧めいたします。

（追：松木かまど部長が炊き上げた絶妙のご飯の味もぜひご賞味あれ！！）



故 西庄勝治さん（会員）のお母さんからのお便り

平成16年6月22日

拝啓 梅雨の候、御無沙汰いたして居りますが、皆さまには御元気でいらっしゃいますか。

私も、勝治亡き後はしっかりせねばと思い、毎日、自分で出来る事は精出して暮らしています。85歳になり、逆縁の悲しさ、辛さに堪えながら、娘夫婦に守られて過ごしています。

勝治が青年時代より、一緒にサービスグループで奉仕させて頂いて、がんばるつもりでしたが、志半ばで往きました。四月に京都の大谷本廟と和泉市平井町の和泉中央霊園へ納骨いたしました。主人と並んで仏前に写真をかざり、朝晩おつとめの後、主人と勝治に話しかけています。すべては夢と消えました。未だにお経をあげていると涙がにじんでまいります。

生前のあの子は、よき友人、知己にお逢い出来て幸せだったと思っています。またグループの夏期キャンプと冬のクリスマスパーティがありますね。その時に少しでもお役に立てて下さいませ。勝治の心にかわり、些少ですが寄付を同封いたします。

世に在りせば、今年のキャンプにも勝治は喜んで参加させて頂いたと思いますので、どうぞグループの皆様方によりしくお伝え下さいませ。お手数をかけますがよろしくお願い致します。グループの皆様のご多幸をお祈り申し上げます。 合掌 西庄 秀子

西庄勝治さんは2002年春に55歳で急逝されました。

会員便り ①

丸岡 俊之

皆さんよろしく 新入会員です。



このたび、「かたつむり21」の新会員となりました。よろしく申し上げます。

きっかけは、私と同じ職場の宮本先生から、新年の

集いのお誘いをいただき参加したことでした。そこで皆さんから、これまでの取り組みや「かたつむり21」にかける思いを熱く語っていただいている内に、いつのまにやら、私もその一員ということになりました。後方支援ということですが、できるだけ思いを共有できるようにしたいと思います。

近況ですが、いま歩くことに挑戦しています。（実は体重を落とさないといけないのです。）毎朝、地下鉄中央線の緑橋から谷町四丁目まで、約30分くらいでしょうか。慣れると気持ちいいものです。

歩いてみて感じることは、ほんとに階段が多いということです。意識をすれば、見え方も変わってくるものだと感じています。途中通り抜ける大阪城公園では、少しづつ木々の葉が色づき始め、秋の気配を感じさせてくれます。

さて、仕事の方ですが、将来の「ものづくりの町大阪」をリードする「人づくり」といったところでしょうか。このことにかける思いは、人後に落ちないと自負しているところです。よろしく申し上げます。

会員便り ②

浅利 宣之

自称 グータラ会員です。



冠省 ご無沙汰申し上げます。

小生は現在、肝炎の治療中です。

春の内視鏡検査で手術に及ばずとの判定が出、検査を怠らず生活に無理を強いることなければ、治まりを期待できるとの診断説明でした。あとは医師に任せて、久しぶりにノンビリします。感謝。このような次第で、仕事とインターフェロンにかまけて名目グータラ会員丸出しにて、日々嵐と平穩無事の繰り返しの中で暮らしております。

ただその日が過ぎるを繰り返している輩には、各位のご活躍が羨ましく、早く引退して一端を担わねばと思いながらこのような言い訳ばかりを申し上げます。

何かお役に立てる件がございますれば、随時お申し付け戴きたくお願い申し上げます。風呂屋の釜で「ゆう」ばかりですが…。

能勢 Autumn Campのお知らせ

オータムキャンプ実行委員会

今年で5回目を迎えるオータムキャンプ、今回のキーワードは“能勢の秋の味覚を楽しもう”です。色づき始めた木々に囲まれ、澄み切った青空の下で、秋の味覚一例えば、栗菓子、栗酒、栗ご飯、マツタケ??、ズワイガニ?（なぜか去年は食べました）等々…を楽しもうということです。そのほか栗を素材にした数々のプログラムも予定しているそうです。

昨年のスタッフは全員女性陣で大成功でした。今年のスタッフは男性陣と思いきや、とんでもありません。今年は各分野の達人を集めました。能勢の秋の風景、能勢の秋の味覚、達人の技を楽しみながら、異次元空間の世界でひとときを過ごしませんか。

皆さ～ん！ぜひ、オータムキャンプに参加して、栗の香りが漂う秋を味わいましょう。

- ★ 日時：11月13日（土）～11月14日（日） ところ：愛の郷（ダイヘンキャンプ場）
- ス キャンプ長：岩藤夫妻（初代カップルキャンプ長） BM（会計）：伊東 久実子（山歩きの達人）
- タ PD：種子嶋 公望（SG委員長；芸の達人） サブPD：清石 和子（栗酒づくりの達人）
- ッ NM進行係：原口 和博（宴会の達人） PC：岡村 安敏（山キャンプの達人）
- フ 食堂さん：杉野 雅子（書家・犬訓練士の達人）・林 純子（肢体不自由児通園施設の看護師の達人）
- 調達食料調達係：西山 進見（氷上郡の松茸山の大地主；マツタケ調達の達人）＊いつもお世話になります (´▽`)

★ 詳細は、別紙「能勢Autumn Campのお知らせ」をご覧ください。大勢の参加をお待ちしております。

カナダの若者たちとの交流

石谷 英治



去る8月22日から31日までの間、カナダ・トロントのパープ青少年資源センター（略称P ARC=青少年の自立支援機関）を利用している若者たちとそのスタッフを日本に招聘し、日本の児童福祉施設で暮らす高校生たちとのキャンプ（1泊2日）やワークショップ、児童福祉関係者へのシンポジウムなど10日間にわたって友好を深めました。

この交流は、Children's Views& Voices（略称CVV=卒園生の自主活動）を中心に、CVVをサポートしている児童福祉関係者による交流事業委員会にて運営し、カナダと日本の若者が自分たちの将来や社会のあり方について語りあい、学びあうことを中心としたキャンプやワークショップなどのプログラムでした。

同時に、私たち大人は子どもたちが自分の可能性を信じて生活できるよう、具体化できる環境づくりを考える機会となりました。

これからも子どもたちが自分たちの声で、自分らしく

生きていくための活動を支援していきたいと思っています。子どもたちに寄り添っていききたい。

かたつむり21の皆さんのご協力、ご支援をよろしくお願いします。



編集後記

今年は、4年に1度のオリンピックがアテネで開催され、日本はたくさんのメダルを獲得。

オリンピックの炎の歴史には勝てませんが、SGのキャンプの炎が毎年途切れることなく、灯し続けられていることをうれしく思います。

寒さに向かう季節となりました。皆様、より一層の体力（現状維持でも結構）をつけ、お身体ご自愛下さい。

林 純子